TOSHIBA
Leading Innovation

施工・取扱説明書

保管用

品　番	LEDG87038YL-LSX

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

お客様へ
- ご使用の前に安全上のご注意と取扱説明をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 施工には電気工事士の資格が必要です。必ず販売店･工事店にご依頼ください。
- 本説明書は大切に保管してください。

工事店様へ
- 施工前に安全上のご注意と施工説明をよくお読みのうえ、正しく施工してください。

安全上のご注意 必ずお守りください。

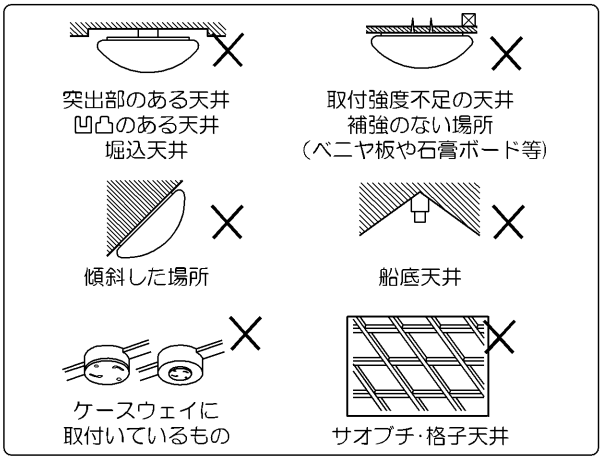
⚠ 警告 この表示は「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される内容」を示します。

⚠ 注意 この表示は「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うか物的損害の発生が想定される内容」を示します。

火災･落下の原因と ⚠ 警告

厳守

この器具は天井取付専用(引掛シーリング取付式)です。指定場所以外には取付けないでください。火災･落下の原因となります。



器具本体表示または本説明書に従って施工してください。施工に不備があると、火災･感電･落下の原因となります。

水ぬれ禁止

この器具は非防水です。湿気の多い場所や屋外では使用しないでください。火災･感電の原因となります。

禁止

周囲温度−5～35℃以外では使用しないでください。火災の原因となります。

器具に荷重をかけたり、布や紙等の可燃物で覆わないでください。器具の真下にストーブ等の温度の高くなるものを置かないでください。火災･感電･落下の原因となります。

分解禁止

器具の改造、部品の変更は行わないでください。火災･感電･落下等の原因となります。

厳守

調光器との併用はできません。火災の原因となります。調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入切用スイッチに交換が必要です。

煙･臭い等の異常を感じたら、すぐに電源を切ってください。火災･感電の原因となります。異常がおさまったことを確認したのち、工事店、お買い上げの販売店、または弊社「照明ご相談センター」にご相談ください。

⚠ 注意

厳守

電気工事が必要な場合は、電気設備の技術基準に従って有資格者が行ってください。一般の方の工事は法律で禁止されています。

●照明器具には寿命があります。
設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検･交換してください。
※使用条件は周囲温度30℃、1日5.5時間点灯、年間2000時間点灯。
※点検は、本説明書に従って行ってください。
周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
●点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電等に至るおそれがあります。

施工説明 | 工事店様へ

●施工前に施工説明をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
●本説明書は必ずお客様にお渡しください。

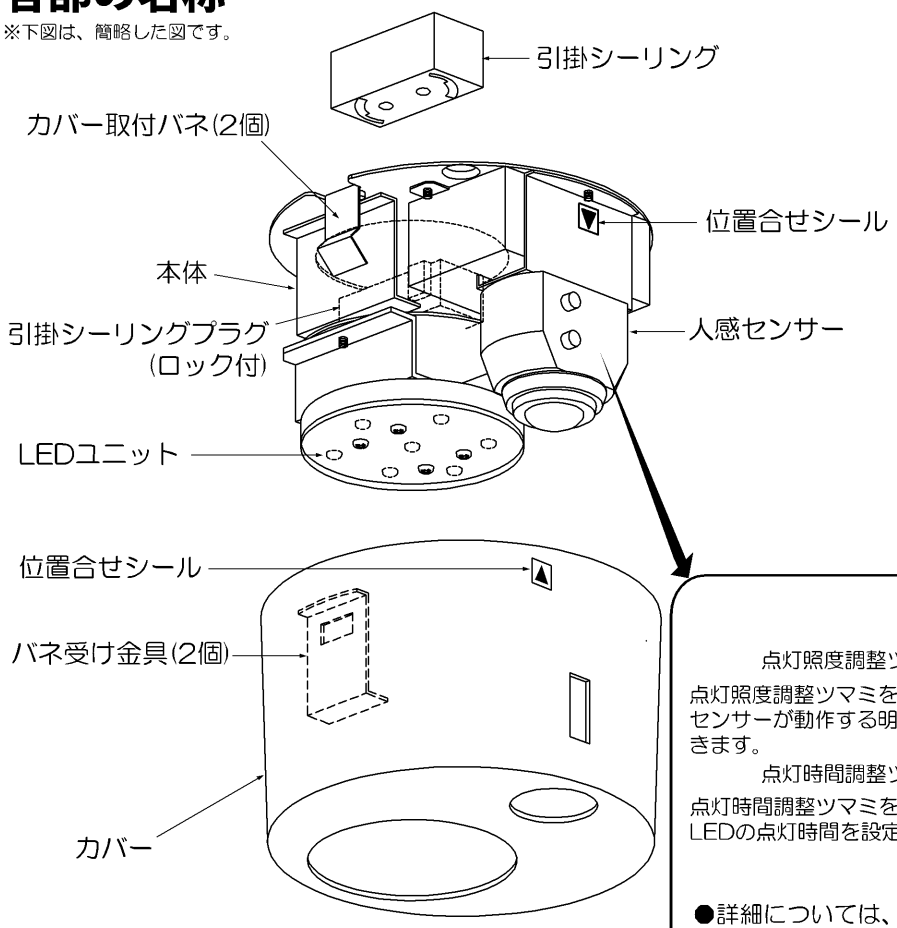
仕様

●屋内専用
●天井取付専用(引掛シーリング取付式)
●異常温度防止機能付
●ON/OFFタイプ人感センサー付
●調光不可
●LEDユニットは交換不可

品番	LEDG87038YL-LSX
定格電圧	交流　100V
周波数	50/60Hz兼用
消費電力	11.5W
入力電流	0.25A
LEDユニット	演色性　Ra85 電球色(2700K)
	LED光源寿命：40,000時間
器具重量	約0.5kg
電源接続	配線器具(引掛シーリング)

各部の名称

※下図は、簡略した図です。

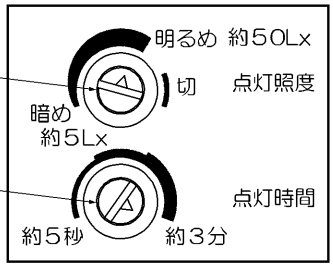


点灯照度調整ツマミ

点灯照度調整ツマミを動かすことでセンサーが動作する明るさを設定できます。

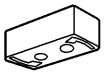
点灯時間調整ツマミ

点灯時間調整ツマミを動かすことでLEDの点灯時間を設定できます。



●詳細については、人感センサーの「取扱説明書」をご参照ください。

付属部品

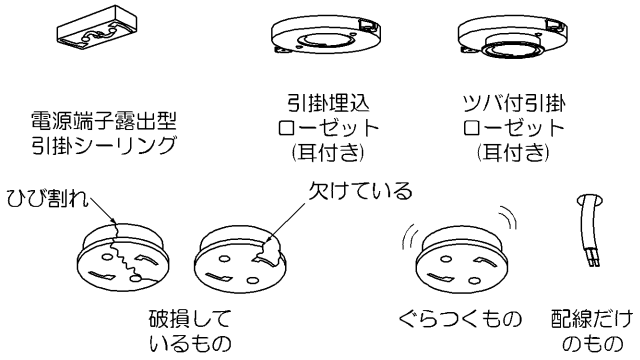

引掛シーリング
(木ネジ付き)

エリアマスク

施工説明

① 取付け前の注意事項について

●使用できないもの(配線器具)



⚠ 警 告
上記のような配線器具には、器具を取付けないでください。火災·感電·落下の原因となります。 配線器具の交換·取付けは資格が必要です。工事店·電器店に依頼してください。

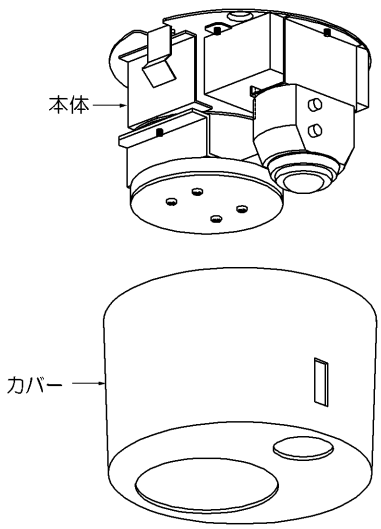
●使用できるもの(配線器具)

⚠ 警 告
配線器具は充分な強度で取付けされていることを必ず確認してください。火災·感電·落下の原因となります。

⚠ 警 告	
厳守	壁スイッチは必ず設けてください。動作点検確認のため必要です。

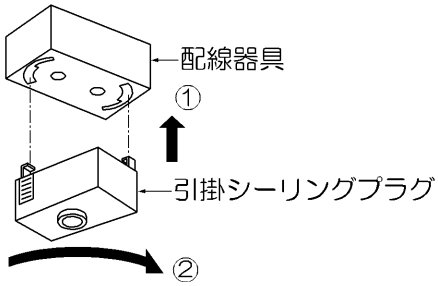
② カバーを取外す

●カバーを引っぱり、本体からカバーを取外してください。



③ 引掛シーリングプラグを取付ける (作業前、必ず電源を切る)

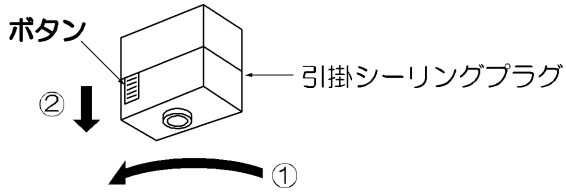
①②引掛シーリングプラグを配線器具に差し込み、右に回して確実に取付けてください。



⚠ 警 告	
取付けが不完全な場合、落下·焼損·不点の原因となります。	定格以外の電圧では使用しないでください。火災·感電の原因となります。

<引掛シーリングを取外す場合>

①②ボタンを押しながら引掛シーリングプラグを左に回して取外してください。

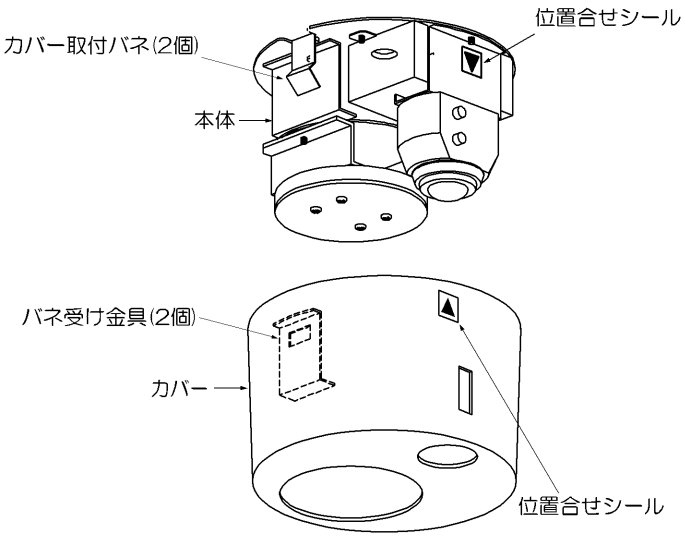


④ カバーを取付ける

●カバーと本体の位置合せシールを合わせて、カバーを天井面まで押し上げ、確実に取付けてください。

※カバーにひび·割れ·欠け等の異常がないか確認のうえ作業してください。

※カバーを下に軽く引っぱり、確実に取付いていることを確認してください。



⚠ 警 告
取付けが不完全な場合、落下の原因となります。

⑤ センサーを設定する

●取付状態・点灯状態を確認してください。
●LEDをソケットから取外してください。
●❷の手順でカバーを取外し、センサーを設定してください。
●点灯照度調整のツマミを「切」、点灯時間調整のツマミを「5秒」に合わせる。

※出荷時のスイッチ設定は点灯照度調整ツマミが「明るめ」、点灯時間調整ツマミが「3分」となっています。

①ブレーカー、壁スイッチをONにしてください。

⚠ 警 告	
厳守	壁スイッチは常にON状態でご使用ください。 誤動作の原因となります。

② 1)電源投入直後(停電復帰直後)から約30秒間は周囲の明るさ(照度)に関係なく点灯します。
※センサーが安定するまでの時間で故障ではありません。

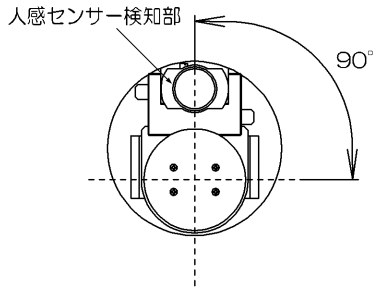
2)その後周囲の明るさに関係なく、人体を検知すると約5秒間照明が点灯します。検知エリアを確認してください。

③点灯時間調整ツマミを動かし、点灯時間を設定してください。
点灯照度調整ツマミを動かし、点灯照度を設定してください。

※モードの設定については「各部の名称」ならびに人感センサーの「取扱説明書」をご参照ください。

●本体可動範囲

回転角度



⚠ 警 告
無理な力を加え、灯具の可動範囲を超えて動かさないでください。火災･感電･落下の原因となります。

⚠ 注 意
点灯中や消灯直後はLEDが高温になっていますので、さわらないでください。やけどの原因となります。

ご使用方法

通常は壁スイッチをONにした状態でご使用ください。

壁スイッチが「ON」の時	1．周囲が暗くなると消灯状態のままです。
	2．人を検知すると点灯状態になります。
	3．設定時間(約5秒～3分)間点灯した後、消灯状態に戻ります。
	4．周囲が明るくなると消灯します。(人を検知しても照明は点灯しません。)
壁スイッチが「OFF」の時	1．周囲が暗くなっても、人が近づいても、全く反応せず、消灯したままです。

●詳細については、人感センサーの「取扱説明書」をご参照ください。

ご使用に関して

〔留意点〕

●電源投入直後(停電復帰直後)は、約30秒間は動作が安定しません。(センサーが安定するまでの時間で故障ではありません。)

●検知範囲に犬や猫が入った場合、動作することがありますが、故障ではありません。

●季節等の温度変化により、検知範囲が多少変化することがありますが、故障ではありません。

※センサーの動作に異常を感じた場合は、人感センサーの「取扱説明書」5ページの「修理を依頼される前に」を一度確認してください。

〔周囲の影響〕

●器具の近くでは、ラジオやテレビ等の音響、映像機器に雑音が入ることがまれにあります。

●器具のきわめて近くでは、リモコン機器(エアコン等)のリモコンが動作しにくくなることがまれにあります。

※異常を感じた場合は、販売店、工事店、または弊社「照明ご相談センター」までお申し出ください。

〔ご注意〕

●点灯時、消灯後には若干のきしみ音が発生することがありますが、異常ではありません。

●器具に殺虫剤等をかけないでください。変質･変色の原因となります。

⚠ 警 告
LEDを直視するのはおやめください。目に悪影響を及ぼすおそれがあります。

保証について

・保証期間は、**商品お買い上げ日より1年間です。**但し、LED器具の点灯装置、蛍光灯器具・HID器具の安定器(インバータバラスト含む)については3年間です。
・セード、グローブ、リモコン送信器は保証対象とし、ランプ、点灯管、電池などの消耗品は対象外とさせていただきます。
・24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。
・取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無償修理させていただきます。

保証の免責事項

1. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
(1)使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
(2)お買い上げ後の取り付け場所移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
(3)火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷
(4)車両、船舶等に搭載された場合に生じる故障および損傷
(5)施工上の不備に起因する故障や不具合
(6)法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障および損傷
(7)日本国内以外での使用による故障および損傷
2. 離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝ライテック照明ご相談センター

0120-66-1048 (通話料：無料)
受付時間：365日　9：00～20：00
携帯電話・PHSなど　046-862-2772(通話料：有料)
FAX　0570-000-661(通話料：有料)

お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

日本国内専用
Use only in Japan

東芝ライテック株式会社　住宅照明部　〒212-8585 神奈川県川崎市幸区堀川町72番地34
TEL(044)331-7553
FAX(044)548-9604

お客様はお読みになったあとも必ず保管してください。

TOSHIBA
Leading Innovation

取扱説明書

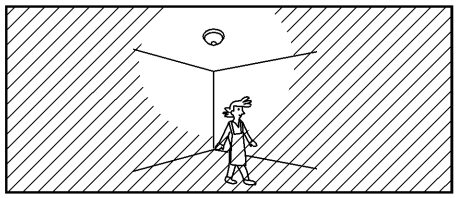
CPM　C　保存用
人感センサー(ON/OFFタイプ)

お客様へ　●ご使用の前に説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

人感センサースイッチの特徴

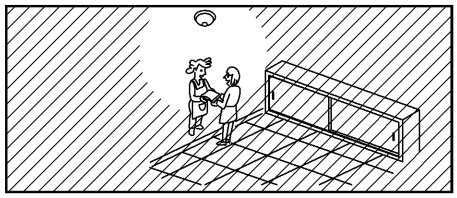
センサー機能

センサーが人を検知すると、ランプが100%点灯します。
人がいなくなると設定された点灯時間(約5秒～約3分)経過後、消灯します。点灯保持時間が選べます。



強制ON(連続点灯)

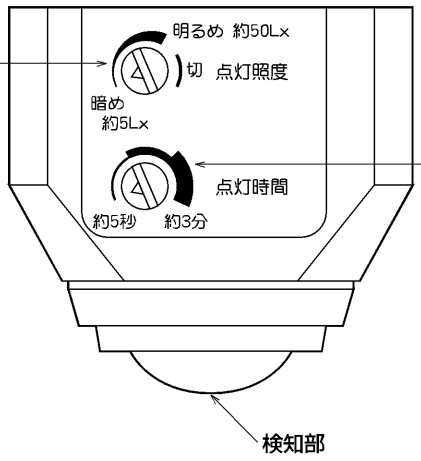
連続して点灯させたい時は壁スイッチをオフにして3秒以内にオンにすると、強制的にランプを100%点灯できます。
解除するときは一旦壁スイッチをオフにし、5秒以上経過後、再びオンにするとセンサー動作に戻ります。



センサー各部の名称

点灯照度調整ツマミ

点灯照度調整ツマミを動かすことでセンサーが動作する明るさを設定することができます。



点灯時間調整ツマミ

点灯時間調整ツマミを動かすことでランプの点灯時間を設定することができます。

注) エリアマスクを取付けることで、感知エリアが調節できます。
必ず感知エリアを確認してください。
(P､2を参照してください。)

エリアマスク
貼り付け位置

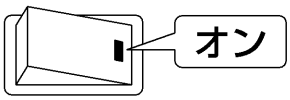
この説明書は必ずお客様にお渡しください

初めて使う時（検知範囲を確認する）

1. 点灯照度調整のツマミを「切」、点灯時間調整のツマミを「5秒」に合わせる。

※昼間・夜間に関係なくセンサーの検知範囲に人が入ればランプが約5秒間100%で点灯し、その後、消灯します。

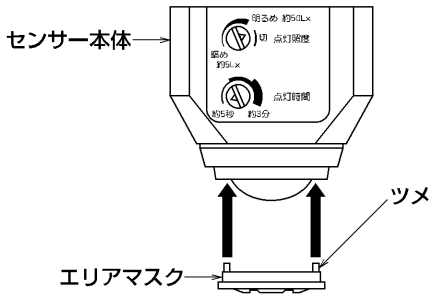
2. 壁スイッチを「オン」にする。



注）壁スイッチを「オン」にした直後は、ランプが約30秒間100%で点灯(強制点灯)しますが、異常ではありません。

強制点灯(約30秒)後、周囲の明るさに関係なく、人体を検知すると約5秒間ランプが点灯するので検知範囲を確認してください。

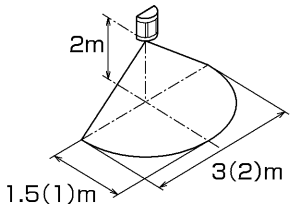
3. 検知範囲を決める。



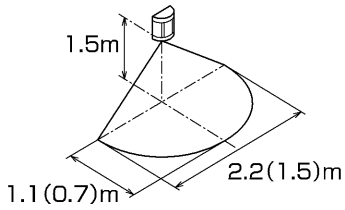
注）検知エリアが広い場合はセンサー検知部に「エリアマスク」を取り付けて、検知エリアを調整してください。

〈センサーの検知範囲〉　　（　）：エリアマスクを取付けた時

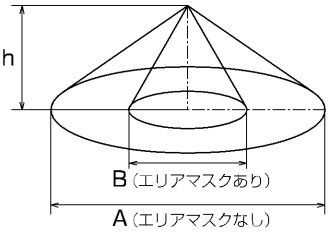
壁付タイプの場合：高さ2m



壁付タイプの場合：高さ1.5m



シーリングタイプの場合



A：エリアマスクなし
B：エリアマスクあり
単位(m)

h	A	B
2	3	2
2.5	4	2.3
3	5	2.8

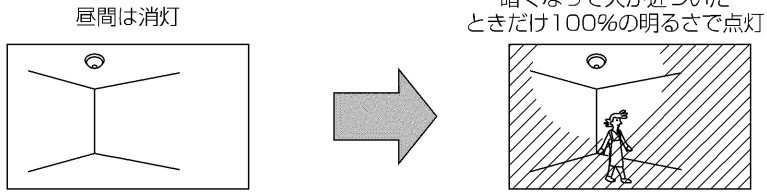
4. センサーが動作する明るさ、点灯する時間を決める。

動作設定方法をお読みください。（3ページ）

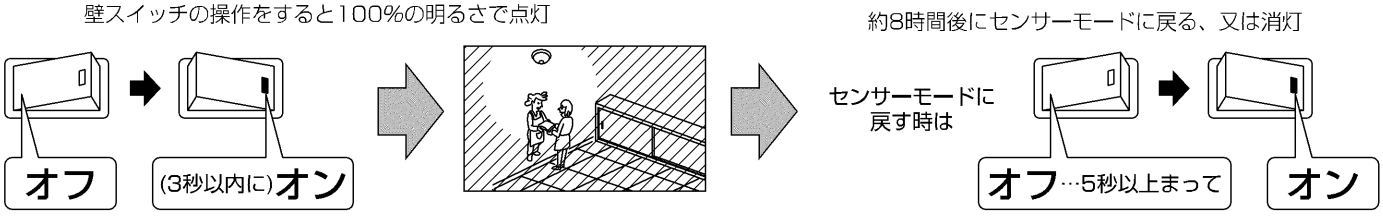
こんな使い方ができます

「点灯時間」調整のツマミを動かすことでランプの点灯時間(約5秒～約3分)を設定することができます。又、壁スイッチの操作で「強制ONモード」もできます。
この人感センサー付き照明器具は、「強制ONモード」を除き、**壁スイッチをONの状態でご使用ください。**

人が来たときだけ明るくしたい → 動作設定方法 へ

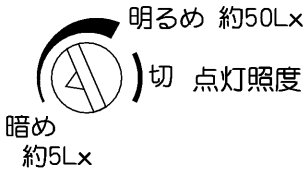


好きな時に照明を点灯させたい → 強制ONモードの操作 へ



動作設定方法

1. 点灯照度調整ツマミを「暗め」～「明るめ」・「切」に合わせる。



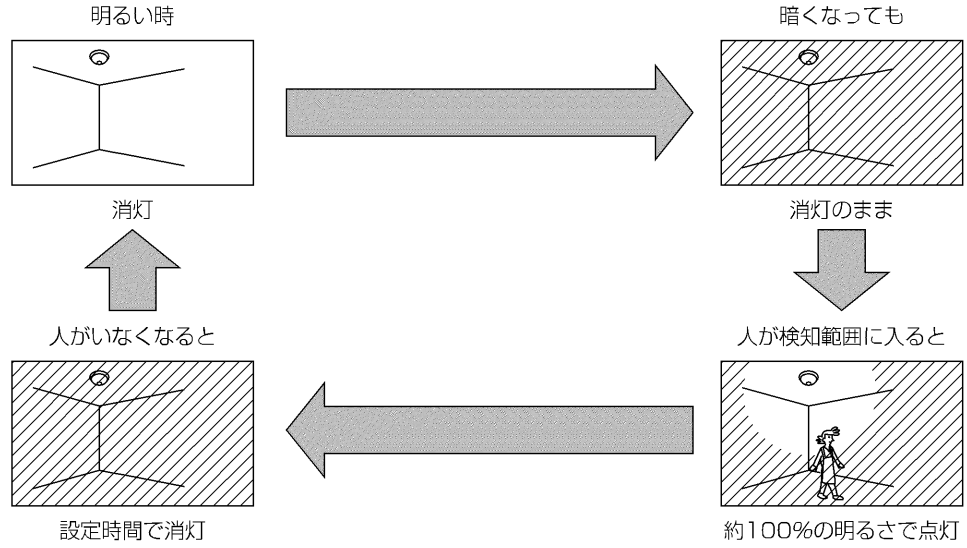
明るさに関係なく点灯させたい。(約10000ルクス以下)
→「**切**」に合わせてください。

夕方のやや明るい時から点灯させたい。
また、明け方に消灯させたい。(約50ルクス以下)
→「**明るめ**」に合わせてください。

夜暗くなりかけてから点灯させたい。
また、明け方早くに消灯させたい。(約5ルクス以下)
→「**暗め**」に合わせてください。

2. 点灯時間調整ツマミを「約5秒」～「約3分」に合わせる。

＜動作＞



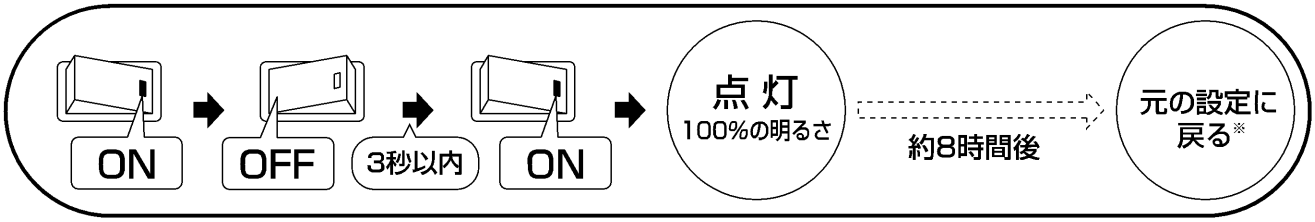
ランプを今すぐ点灯させたいとき 「強制ON」モード

人の有無や周囲の明るさに関係なく、ランプを強制的に点灯させることができます。

ランプを強制的に点灯させるとき （「強制ON」モードで使用するとき）

❶壁スイッチを「ON」にする。（すでに「ON」の場合はそのまま）

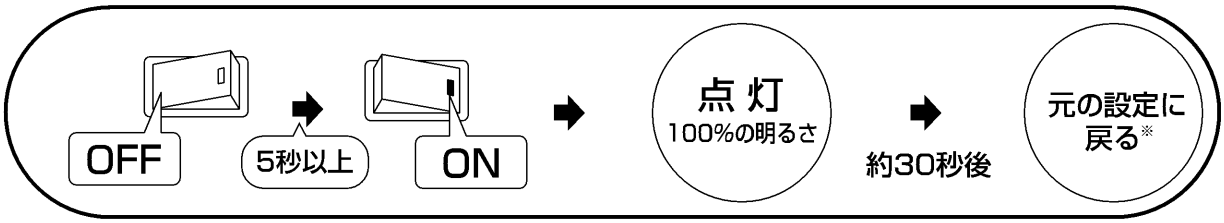
❷壁スイッチを「OFF」にし、3秒以内に「ON」にする。



元の設定に戻すとき （使用していた設定状態にすぐに戻したいとき）

❶壁スイッチを「OFF」にしてから5秒以上待つ。

❷壁スイッチを「ON」にする。



※ 元の設定に戻ったとき、設定内容や周囲の明るさなどにより、ランプの点灯状態が異なります。
（設定内容により異なる）

注）壁スイッチを「オン」にした直後は約30秒間100%点灯します。(故障ではありません。)

修理を依頼される前に

●センサーの動作がおかしい時は下記を参考に点検を行ってください。
●もし、正常に戻らない時は、壁スイッチを「オフ」にして5秒以上たってから、「オン」にしてください。
●処置をした後でも異常があるときは必ず電源を「オフ」にし、お買い上げの販売店、工事店、または照明器具の取扱説明書に記載の当社相談窓口までご連絡ください。

現　象		考えられる原因	処置方法
ランプが点灯したままで消灯しない		壁スイッチを「オフ」にして約3秒以内に「オン」にした。(「強制ONモード」)	「強制ONモード」になっています。 壁スイッチを「オフ」にして5秒以上たってから「オン」にしてください。
	明け方	「点灯照度」調整のツマミが「**明るめ**」側になっている。	朝、明るくなる頃までセンサーが動作する設定になっています。 「点灯照度」調整のツマミを「**暗め**」側に調整してください。 (→「動作設定方法」をご参照ください。)
	明るいとき	照明器具の取付場所が薄暗い。 (昼間でも暗い時がある。)	薄暗い時にセンサーが動作する設定になっています。 「点灯照度」調整のツマミを「**暗め**」側に調整してください。 (→「動作設定方法」をご参照ください。)
		昼間でも、曇り、雨などで周囲が暗くなった。	
検知範囲に人がいるのに点灯しない	夕　方	「点灯照度」調整のツマミが「**暗め**」側になっている。	暗くなりかけてからセンサーが動作する設定になっています。 「点灯照度」調整のツマミを「**明るめ**」側に調整してください。 (→「動作設定方法」をご参照ください。)
	暗いとき	ランプが切れている。	新しいランプに交換する。 (→適合ランプは照明器具の取扱説明書又は、照明器具に貼付のランプシールをご参照ください。)
		ランプが緩んでいる。	ランプを締め直す。 (→照明器具の取扱説明書をご参照ください。)
		壁スイッチがオフになっている。	壁スイッチをオンにする。
		センサーの検知部に他の照明器具の光が当たっている。	1.センサーの検知部に当たる光を遮断してください。 2.検知範囲内の照明器具を取り除いてください。
		センサーの検知部が汚れている。	センサーの検知部の汚れを柔らかい布で拭き取ってください。

現　象		考えられる原因		処置方法
検知範囲に人がいないのに点灯する	→	電源を「オン」にした直後。 又は、停電から復帰直後。	→	電源を「オン」にした時は、 約30秒間100%点灯します。
	→	暗いとき 検知範囲内に人以外の熱源がある。 例：自動車の熱やヘッドライト 近くの道路の通行人 犬や猫などの動物 風などでよく揺れるもの (洗濯物、旗、植木など) 他の照明器具 エアコンなどの吹出口からの風 強いノイズ(無線ノイズなど)	→	1.検知範囲を調整する。 (→初めて使う時をご参照ください。) 2.熱源を取り除く。 検知範囲内に左記の例のようなものがあれば、周囲の温度変化を検知し、センサーが動作することがあります。
検知範囲に人がいるのに消灯する	→	「点灯時間」調整のツマミが「**約5秒**」側になっている。	→	「点灯時間」調整のツマミを「**約3分**」側に調整してください。 (→「動作設定方法」をご参照ください。)
	→	暗いとき 検知範囲内で人が静止している。	→	静止している人は検知できません。
検知範囲が狭い	→	暗いとき 雨の日に傘などで顔や手が隠れている。	→	センサーは温度変化を検知するため、左記の場合は検知しにくくなることがあります。
		マフラーで顔を覆ったり手袋をしていて肌の露出部分が少ない。	→	
		夏の暑い日などで周囲温度と人との温度差が少ない。	→	

クリーニング方法

●乾いた布で汚れを拭き取ってください。汚れが落ちにくい場合は、よく絞った布で拭き取り、最後に乾いた布で拭き取ってください。

●クリーニング後、動作を確認してください。以前と動作が違った場合、再度、設定してください。

❗	直接、センサーに水をかけないでください。故障の原因となります。

この説明書は必ずお客様にお渡しください